

## トップメッセージ

## サステナビリティ活動方針

## 基本方針

もっと社会に役立つ  
 もっとお客様に喜んでいただける  
 もっと地球に優しい企業グループ  
 そして「ゆとりとやりがい」

## 中期方針

ICTの発展をお客様価値向上へ  
 結びつけるイノベーション企業グループ

代表取締役 社長執行役員  
 坂下 智保



## コーポレートガバナンスの強化に努め、 持続的な成長と中長期的な企業価値の向上の取り組みへ

日本経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症や半導体不足によるサプライチェーンの混乱による影響は残るものの、製造業を中心に国内の景気回復が進みました。一方で、欧米各国のインフレ懸念に伴う金利の上昇と、それに伴う円安の進行やウクライナの地政学的問題が及ぼすエネルギーコストの高騰など、今後の経済活動への新たな懸念事項が生じております。

情報サービス産業におきましては、生産性向上・業務効率化やビジネスモデルの変革を目的とした「デジタルトランスフォーメーション(以下、DX)」など、業務改革やビジネス革新におけるデジタル技術活用への意欲は依然として強く、世界的な物価上昇や長期化するサプライチェーンの混乱等の影響を見定めながらではあるものの、システム投資需要は堅調な状況が続いており、さらなる投資拡大も期待されております。

このような状況の下、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の社内での広がりを抑えるため、リモートワークなどを駆使した徹底的な安全対策を施しつつ、DXの流れのなかで変動するマーケット環境に対応して、機動的に経営資源を配置することで、変化するお客様状況に対応してまいりました。さらに、かねてより取り組んできた重点技術分野AIS-CRMに加え、DXや5Gといった領域においても、社内的人的リソースの再配置や部門間の連携、必要な研究投資等により、積極的にお客様のビジネス分野にアプローチすることで、デジタル化の促進と付加価値向上を支援してまいりました。また、当社自身のDXを推進する専門部隊を設置するとともに、そこで得た経験やノウハウをコンサルティング部門と連携しサービス提供することに加えて、超上流分野やデジタルマーケティングを得意とする企業との連携も行き、最上流から下流まで一貫通貫のサービスをお客様へ提供するための多層的なITサービスの拡充と体制整備にも積極的に取り組んでまいりました。

当社は持続的な成長と企業価値向上を進めるなかで、様々な企業活動を通して、社会の発展に貢献することを重要な使命としてきました。当社の「基本方針」は、ESG(環境、社会、ガバナンス)の概念を包含しているものであり、より一層事業を発展させるとともに、社会的責任も果たしていく所存です。創業52周年を迎えた当社の歴史のなかで培ってきた3つの領域で(組込制御系ソフトウェア開発分野、業務系ソフトウェア開発分野、プロダクト・サービス分野)それぞれに強みを確立しています。この3つの領域は、今後の社会発展に融合して必要となるものであり、これに当社の重点戦略技術分野である“AIS-CRM(AI, IoT, Security, Cloud, Robot, Mobile, AutoMotive)”を加えることで、より付加価値の高い事業を展開していきます。さらに、お客様のDXをより強力に支援するために、サービスデザイン、ITコンサルティング部隊の強化を行い、外部企業とのアライアンス強化も行うことで、上流段階からの一貫対応力を強化しています。その上に、5Gなどの先端技術への弛まない研鑽を行うとともに、海外展開も積極的に進めて、弛まぬ成長と企業価値向上を進め、社会の発展に貢献してまいります。

代表取締役 社長執行役員

坂下 智保

サステナビリティ活動方針は、当社の「基本方針」、「中期方針」をそのまま引用しています。